



令和7年
(2025年)
4月号
Vol.64

もちのき

(社会福祉法人愛の森広報紙)



[発行]社会福祉法人愛の森(厚木市森の里青山14-2(Tel:046(248)5211)) [編集発行責任者] 國分 隆之

入院の奨め！(勿論冗談です♪)

サービス提供側として、利用者さんの快適な生活を考え、実践するのが私たちの仕事ですが、先月末から軽い骨折で入院する機会を得、「受け手側」として貴重な体験中です。「生活の場」か「退院を前提とした場」かという根本的な違いはあっても、一日のうちの多くの時間を過ごすという意味で、病室と、学園の「入所エリア」とは、似ている場面・局面がそれなりにあります。

病室の一日は、看護師さんなどによる献身的な諸対応に支えられています。看護、食事、薬剤管理、清拭、排泄管理から部屋の清潔の保持に至るまで、てきぱきと、また、適宜お声かけをいただきながら、提供されます。私の軸足(怪我していない側)に合わせた部屋のレイアウトは看護助手さんたちが考えてくださいました。きわめて快適な療養環境です。

病棟外からも色々がいらっしゃいます。快活でどんな質問にも答えてくださる主治医の先生。薬剤師さんや管理栄養士さんも、折を見て来室され、複数ある鎮痛剤の選択に関する丁寧な説明や、好みや体調に応じた栄養指導・メニュー調整等をしてくださいます。

そして手術適用ではない私に最も重要なリハビリは、入院翌日から。私の状況、要望、我が儘♪に応じ、PT(理学療法士)さんによる個別的かつ弾力的なメニュー提供を受けています。

これら「受け手側」の日々の経験を通じ、業態や職種の違いはあれ、「これは参考になるなあ」と思うことが多々ありました。一方で、「これは我が学園の方が一寸いけてるかも」ということがあります。うちのスタッフも工夫してるんだな」と思うこともあります。とても有意義な時間を過ごしております。

などと「また」していなくて、早く退院し業務に復帰しなければ、というのが、少々情けないです♪、法人責任者としての年度初めの決意表明となります。

今年度も内外の皆様にはお世話になります。どうぞ宜しくお願ひ申し上げます。[國分 隆之]

[実習！] 若手職員出身校の1つ：湘北短大からの実習生！：3月10日(月)～21日(金)

毎年、実習生が来て下さるご縁の深い市内の短大から、今回は、男女1名ずつ、10日間の実習です。以下、実習後のご感想です。

担当者：知的障害については自分なりに勉強してきたつもりだったが、最初は正直おっかなびっくりでした。しかし、初日から利用者さんに元気良く「こんにちは」と声をかけていただき、リラックスして実習ができました。あっという間の10日間でした。

担当者：自分がどう動けば良いか分からず、最初の1週間は戸惑いが大きかったです。職員の方から色々なアドバイスを受ける中で、自分なりに出来ることをやってみようと思い、握手したり寄り添ったりと、些細でしたが関わることが出来ました。幼稚園や保育園の実習では、一緒に遊ぶことが主だった関わりでしたが、24時間の生活施設では「見守り」の大切さを感じました。

[橋本 恵子]



[軽音楽トークと美味しい食事!] 春の会は、初めてのヴォードヴィリアン! :3月22日(土)

愛の森のイベントにはプロの方も結構いらっしゃいます。落語家、色物(いろもの)芸人さん、そして地元出身のアイドルも! 招聘ルートは、基本、職員の個人的な伝手(つて)!

今回は、某課長のお知合いというヴォードヴィリアンをお招きしてのステージとなりました。

10時過ぎから始まった、上の助 空五郎(うわのすけ そらごろう)さんのパフォーマンス。手にする楽器はウクレレですが、トランペットやトロンボーンも「口」で奏でるという、なかなかの見ごたえ聞きごたえ! 「A列車で行こう」や「聖者が街にやってくる」といった誰でも何となくは聞いたことのある心地よいスタンダードと、軽妙なトークによるパフォーマンスに、皆さん、笑ったり、ほのぼのしたり! これまでとは一寸違った感じのステージを堪能しました。

その後のお食事会は、春らしい彩りの豪華なお弁当! あっという間に過ぎ去ってしまうのが「楽しい時間」ですが、「楽しい記憶」が残ってくれれば、と思う担当でした。 [佐藤 由]



[花見に行けなきゃ、花見を作ろう!] 3月のホリデー日課：3月29日(土)

「週末だって、職員さんと遊びたい!」がコンセプトの月一度のホリデー日課。

年度前半は「食べ物企画」ばかりだったこの企画、「作ったり食べたりの企画は楽しいけれど、ちょっと、そればかりが続くと芸がないんじゃない?」、と某理事長が言ったか言わなかはさておき、年度後半は、工夫と発想の溢れる企画が続いている。

3月の企画は「花見に行けなきゃ、花見を作ろう!」(企画のタイトルは事後的に某編集長がでっち上げました 😊)。毎年の花見は、「見ごろ、他の日課、職員配置」の兼合いを勘案し、ピンポイントでうまく設定できるか、が支援チームの腕の見せ所。今年は、満開直前の3月29日(土)に「ホリデー日課」としてセットしたのですが、あいにくの雨天。

で、今月のホリデー担当が用意していた企画がこれ。見に行けなければ、みんなで桜の木を作っちゃおう、という大胆な企画! みんなで模造紙に木を描いて、ちぎった紙を花びらに見立てて貼れば、桜の木の出来上がり! 紙をちぎるのはみなさん大得意! 沢山の利用者さんの力を借りて、大量の花びらをつくり、模造紙に貼り付けて「愛の森桜」の完成です!

館内に飾った満開の「愛の森桜」、しばらくはお花見が楽しめそうです! [飯島 功士]



[AED研修] くり返しの実施によるスキルアップと平準化を目指して：3月22日(土)

学園には3台のAED(自動体外式除細動器)があります。また、過去に実際にAEDを使用したこともあります(電気ショック発動には至らない事例でしたが)。ということで、折をみて、学園内では、その操作方法と一時救命についての研修を行うようにしています。

まずは、基本的な心肺蘇生法の一連の流れを厚木消防署からお借りしたレサシアン(心肺蘇生法の訓練人形)とAEDデモ機により、二班に分かれて行いました。

当法人に在籍する応急手当普及員有資格者4名のうちのベテラン2名が核となり、その日参加した20名弱の職員1名ずつに指導して回るという、実践主体の研修となりました。

あわせて、救急車を呼ぶときに言うべきこと、その到着までに何をどのように行動するかなど、普及員を中心にやりとりしながら参加者一同で確認し、最後に基礎知識を徹底するための座学(問題演習)を行って、その日の研修は終了となりました。

応急手当が必要な事案の発生は、どの職員が勤務時かを選んではくれません。学園の課題は、マニアレベル(失礼)の知識と技量を有するベテラン2名の域に少しでも、全体を近づけること。今後もくり返し、研修をやっていく予定です。 [平澤 亜由子、武田 紘幸、伊藤 恵美]



[ご近所づきあい] 隣地の上場企業さんと相互訪問をいたしました！：3月7日(金)

本厚木駅・愛甲石田駅からのバス通りを学園所在地に向けて右折する森の里三丁目の交差点の横には以前大手ゼネコンさんの研究所がありました。数年前、「マークライズ様」という会社の建物が出来ました。なんか自動車関連の企業さんらしいのですがどんな会社なのかな、と思っていたら、森の里地区にお住いの高村市議のご紹介で、今年2月に私たちが、そして今月、同社有志の方々が、お互いの事業所を訪問する機会に恵まれました。

同社は、平たく言えば?、色々なメーカーの自動車のスペックその他の情報を分析し、独自のプラットフォームで提供するというまさに令和の最先端上場企業。かたや我が学園はのんびりとした地方の一福祉施設。いわば昭和のアナログ事業所。

[春の訪れ～3月初旬]

園庭?の目立たない所に、毎年ふきのとうの芽が出ます。これを見て「春の訪れ」を感じる職員もいるようです。



業種も時代性もまったく違うわけですが、お互いの事業所見学は、大いに盛り上がり、今後もご近所付合いをさせていただくこととなりました。「入所施設」は閉鎖的になりがちと言われています。利用者さんのプライバシーはしっかりと守りつつ、地域の皆さんとは開けた関係を築いていきたいと思います。 [國分 隆之]



[薬剤・服薬支援研修] 支援の重要なツールの1つである「薬」と向き合う：2月27日(木)

医療関連職種が1名(日勤看護師)のみの配置である小規模施設たる我が学園で、薬に関する各種取組みを意識して始めるようになって数年…。(福)愛の森リスク人権委員会(ヒヤリハット対応・虐待防止などの付議機関)の外部委員をお願いしている海老原毅先生(元心身障害児総合医療療育センター薬剤科長)をお迎えしての薬剤・服薬支援の施設内研修会も、今回で3回目。

今年度は新人支援職員を多く迎えたことも踏まえ、改めて支援職員が知っておくべき基本知識(商品名と成分名、先発品と後発品、OD錠・R錠などなど)や、薬剤の使用目的と副作用、といった前回までのおさらい的な内容を冒頭にお話ししていただきました。

また、学園で使用される数多ある薬剤のうち、特に留意が必要なもの1つに睡眠・鎮静薬がありますが、これについてのご講義を賜りました。睡眠障害についての様々な状態・原因や、実際に学園の利用者さんに処方されている不眠系の薬剤などの説明と服用タイミングの話など、いずれも、完全個室ではない古い施設という学園の実情も踏まえての日々の業務を念頭に置いた実践的な内容でした。

また、向精神薬や不眠時頓服薬等の使用に際しての、①正確な記録、②職員間情報共有、③定期的に来園する嘱託医へのフィードバックを実現するために、服用時からの経過を如何に正確に記録していくか、という課題については、海老原先生のご指導による改善前と改善後の実際の記録を比較しつつ、時系列で簡潔・正確な記録の書き方について、改めて確認を致しました。

そのほか、看護の世界では記録の基本とされる「SOAP」の解説をベースとした記録の在り方、副作用(眠気・ふらつき)への注意、利用者さん個々の睡眠障害状態に合わせた処方、等々、薬から睡眠に至るまで、支援業務の質向上に向けた大きな糧となりました。 [遠藤 岳洋]



[日誌/令和7年3月] 中止・延期のイベントには、「😢」を付しています。

[第1週] 1日(土) 医療ケア会議

[第2週] 3日(月) 遊美術 / 4日(火) 嘱託医往診 / 支援計画会議(通所・GH) / 5日(水) ふれあい会(入所者利用者さん自治会) / ランチ❶選択メニュー(さばしおやき or しおざけ) / ジムの日 / エアロビ / (福)愛の森理事会 / 7日(金) 食生活委員会・厨房会議 / 七沢森林公园清掃ボランティア

[第3週] 10日(月)~21日(金) 湘北短大実習受入れ[記事]

/ 11日(火) 防災訓練 / 安全点検の日・リスク人権委員会 / 12日(水) 音楽 / 訪問理美容 / 13日(木) 移動販売 / 14日(金) 七沢森林公园清掃ボランティア

[第4週] 18日(火) 書道教室

/ 19日(水) ランチ❶選択メニュー(かじきのばじるやき or かじきのごまかつ) / 21日(金) 七沢森林公园清掃ボランティア / 産業医来園 / 22日(土) 春の会[記事] / 学園内研修(応急手当法)[記事]

[第5週] / 26日(水) ジムの日 / 音楽 / 評議員会 / 27日(木) エアロビ 支援会議(入所) / 園内研修(虐待防止)[次号] / 29日(土) ホリデー日課[記事]

[第6週] / 31日(月)退職者お別れ会[写真]

